

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本ライフライン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,187	10.7	1,296	154.6	1,453	144.4	667	101.5
25年3月期第3四半期	16,426	△5.8	509	△47.7	594	△37.4	331	△42.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 705百万円 (87.4%) 25年3月期第3四半期 376百万円 (△24.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	61.80	—
25年3月期第3四半期	30.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	29,158	15,848	54.4
25年3月期	27,110	15,412	56.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 15,848百万円 25年3月期 15,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,705	12.6	1,192	53.9	1,239	27.1	489	△5.8	45.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	11,302,497 株	25年3月期	11,302,497 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	500,541 株	25年3月期	500,541 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	10,801,956 株	25年3月期3Q	10,801,998 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12
5. 補足情報	13
(1) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(売上高について)

当第3四半期連結累計期間におきましては、当社のオンリーワン製品である心腔内除細動システムの普及に伴い専用カテーテル「BeeAT」の販売数量が伸長したことから、EP/アブレーションの売上高が増加いたしました。また外科関連におきましても、昨年発売した生体弁および胸部用ステントグラフトが堅調に推移し一定の市場シェアを獲得したことから、前年同期に比べ売上高が増加いたしました。その一方で、リズムデバイスおよびインターベンションにおきましては、引き続き厳しい競争環境が続くなか売上高が減少いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は181億8千7百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	増減率
リズムデバイス	6,892	5,238	△24.0%
EP/アブレーション	4,430	6,590	48.7%
外科関連	1,865	3,435	84.2%
インターベンション	2,134	2,020	△5.3%
その他	1,103	903	△18.1%
合計	16,426	18,187	10.7%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル
外科関連	人工血管、ステントグラフト、人工心臓弁、人工弁輪、人工肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

(リズムデバイス)

心臓ペースメーカ関連におきましては、MRI（磁気共鳴画像）検査に対応した商品の導入が競合会社に比べ遅れていることから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。

またICD（植込み型除細動器）関連におきましては、遠隔モニタリングに対応した「PARADYM（パラダイム）」シリーズのICDおよびCRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）を導入したものの、他社製品との競争環境が厳しく販売数量が減少いたしました。

以上により、リズムデバイスの売上高は52億3千8百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

(EP/アブレーション)

EPカテーテルにおきましては、自社製品でありオンリーワン製品でもある心腔内除細動システム「SHOCK AT (ショック・AT)」の専用カテーテル「BeeAT (ビート)」の販売が好調に推移したことから、EPカテーテルの売上高は前年同期に比べ56.8%増加いたしました。

また、同じくオンリーワン商品である高周波心房中隔穿刺システムにつきましては、従来の方法に比べてより安全性の高い手技が可能であることから、第2四半期の発売以降、販売数量が順調に増加しております。

以上により、EP/アブレーションの売上高は65億9千万円（前年同期比48.7%増）となりました。

(外科関連)

人工弁関連におきましては、昨年1月に発売した生体弁「Mitroflow (マイトロフロー)」が寄与したことにより、売上高は前年同期に比べ158.2%増加いたしました。

人工血管関連におきましては、昨年5月に発売した胸部用ステントグラフト「RELAY Plus (リレイ・プラス)」が、血管への高い追従性や、的確な留置を可能とするデリバリーシステムにより、医療現場で高い評価を得ております。また、止血性に優れた人工血管「J-Graft (ジェイ・グラフト)」につきましても堅調な販売実績となったことから、人工血管関連の売上高は前年同期に比べ、86.3%増加いたしました。

以上により、外科関連の売上高は34億3千5百万円（前年同期比84.2%増）となりました。

(インターベンション)

バルーンカテーテルにおきましては、厳しい競争環境のなか、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。なお、バルーンカテーテルとしては初の自社製品である「canPass (キャンパス)」の薬事承認を本年1月に取得し、来期初の本格販売開始に向けた準備を進めております。

また、自社製品のガイドワイヤーにつきましては、末梢用の新製品の販売数量が増加したものの、冠動脈用の製品につきましては前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。

さらに新商品として貫通用カテーテル「GuideLiner (ガイドライナー)」およびマイクロカテーテル「SuperCross (スーパークロス)」が本年1月に保険適用され、インターベンションの商品ラインナップが拡充されたことから、インターベンション全般の売上増加に努めてまいります。

以上により、インターベンションの売上高は20億2千万円（前年同期比5.3%減）となりました。

(その他)

連結子会社において販売している血液浄化装置等の販売数量が減少したことから、その他の売上高は、9億3百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

(損益について)

①営業利益

当第3四半期連結累計期間におきましては上期に引き続き新商品の販売が好調であったほか、収益性の高い自社製品の売上構成比が増加したことから、売上総利益率が前年同期に比べ1.3ポイント改善し売上総利益が増加いたしました。

また、販売費及び一般管理費におきましては、新商品等の拡販に伴い広告宣伝費や旅費交通費等の経

費が前年同期に比べ増加いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における営業利益は、12億9千6百万円（前年同期比154.6%増）となりました。

②経常利益

子会社等への貸付金に係る為替差益や受取利息等を営業外収益として2億1千2百万円、支払利息等を営業外費用として5千5百万円計上したことから、当第3四半期連結累計期間における経常利益は14億5千3百万円（前年同期比144.4%増）となりました。

③四半期純利益

投資有価証券売却益等を特別利益として6千6百万円、投資有価証券評価損等を特別損失として1億6千5百万円計上したことから、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は6億6千7百万円（前年同期比101.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ18億5千4百万円増加し、192億7千4百万円となりました。これは主として現金及び預金が8億1千4百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が6億8千9百万円、たな卸資産が17億3千2百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ1億9千3百万円増加し、98億8千3百万円となりました。これは主として有形固定資産が2億8千2百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から20億4千8百万円増加し、291億5千8百万円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ5億6千7百万円増加し、85億5百万円となりました。これは主として1年内返済予定の長期借入金が3億5百万円、未払法人税等が1億9千3百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ10億4千4百万円増加し、48億4百万円となりました。これは主として長期借入金が11億3千2百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から16億1千2百万円増加し、133億9百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ4億3千5百万円増加し、158億4千8百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を6億6千7百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、第4四半期において新商品の導入に係る費用の発生を見込んでいることから、平成25年10月28日に公表いたしました平成26年3月期通期業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,910	1,459,570
受取手形及び売掛金	6,375,239	7,064,974
有価証券	405,671	405,848
たな卸資産	7,348,079	9,080,518
繰延税金資産	314,802	252,520
その他	703,827	1,012,506
貸倒引当金	△1,403	△1,193
流動資産合計	17,420,128	19,274,746
固定資産		
有形固定資産	4,994,485	5,277,436
無形固定資産	30,949	32,575
投資その他の資産		
その他	4,671,987	4,581,039
貸倒引当金	△7,484	△7,484
投資その他の資産合計	4,664,502	4,573,555
固定資産合計	9,689,938	9,883,567
資産合計	27,110,066	29,158,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,427,751	1,591,366
短期借入金	4,170,000	4,270,000
1年内返済予定の長期借入金	294,500	600,200
未払金	793,528	703,564
未払法人税等	335,597	529,558
賞与引当金	31,645	320,427
その他	884,677	490,466
流動負債合計	7,937,700	8,505,582
固定負債		
長期借入金	1,092,500	2,224,500
長期未払金	434,454	295,197
退職給付引当金	1,464,714	1,552,287
役員退職慰労引当金	263,229	281,658
負ののれん	2,813	703
その他	501,860	450,000
固定負債合計	3,759,572	4,804,347
負債合計	11,697,272	13,309,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,241	2,115,241
資本剰余金	2,328,128	2,328,128
利益剰余金	11,246,615	11,644,157
自己株式	△351,527	△351,527
株主資本合計	15,338,457	15,735,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,335	112,384
その他の包括利益累計額合計	74,335	112,384
純資産合計	15,412,793	15,848,383
負債純資産合計	27,110,066	29,158,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,426,373	18,187,980
売上原価	8,048,887	8,668,845
売上総利益	8,377,486	9,519,134
販売費及び一般管理費	7,868,194	8,222,653
営業利益	509,291	1,296,480
営業外収益		
受取利息	7,045	13,297
受取配当金	2,966	3,533
為替差益	46,948	129,711
負ののれん償却額	2,110	2,110
その他	54,397	64,258
営業外収益合計	113,467	212,911
営業外費用		
支払利息	22,635	27,421
その他	5,495	28,436
営業外費用合計	28,131	55,858
経常利益	594,627	1,453,534
特別利益		
固定資産売却益	379	222
投資有価証券売却益	—	65,808
薬事申請業務引継による受入金	222,990	—
補助金収入	25,493	—
特別利益合計	248,863	66,030
特別損失		
固定資産除却損	73,104	14,326
投資有価証券評価損	—	96,047
投資有価証券売却損	54,440	—
減損損失	—	25,475
工場移転費用	—	21,066
その他	250	8,149
特別損失合計	127,794	165,065
税金等調整前四半期純利益	715,696	1,354,499
法人税、住民税及び事業税	203,110	656,111
法人税等調整額	181,274	30,798
法人税等合計	384,385	686,909
少数株主損益調整前四半期純利益	331,311	667,590
四半期純利益	331,311	667,590

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	331,311	667,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,140	38,048
その他の包括利益合計	45,140	38,048
四半期包括利益	376,451	705,638
親会社株主に係る四半期包括利益	376,451	705,638

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
	金額	金額
EP/アブレーションカテーテル類	2,324,093	2,285,750
外科関連	300,580	305,364
インターベンション	310,433	264,977
その他	434,251	541,841
合計	3,369,359	3,397,934

②受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③販売状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
	金額	金額
リズムデバイス	6,892,180	5,238,369
EP/アブレーション	4,430,946	6,590,129
外科関連	1,865,437	3,435,891
インターベンション	2,134,416	2,020,284
その他	1,103,393	903,305
合計	16,426,373	18,187,980